



マーメイド・オレンジ

今朝 夕焼けの太陽みたい
なマーメイドが香った時に
思い出したんだ
苦くて酸っぱい 君のこと

通学路で そこの花と一緒にさらさら
と髪の毛をなびかせて
歌うように靴音はひびかせて
その後ろで僕は 寝ぐせをつけたまま
足取りは重たいまま
まぶた閉じてても 世界はまるで明るい
な

そんな君がその日 屋上の隅に立っていた
いつもの女子2、3人はどこへ行った

ヘッドフォンだけが友だちの僕に 君は声をかけた
黄昏の中でそれに飲まれてしまっ
たような
ぎりぎりの位置に佇んでいた
そして、僕に苦くて酸っぱい事
を話したんだ

日々、飛び交う電波の隅々まで
気になってしょうがないって
次々に届く、挨拶にも満たない
文字の羅列が
たまたま怖ろしいって
「もう誰とも繋がりにく
くない」って
君は泣いたんだ

今朝 君を思い出しちゃったから
マーメイドを瓶が空っぽになる
まで塗った
空っぽになって口に押し込んで
もう全部消えちゃえばいいの
に
君を悩ませる、苦くて酸っぱ
い不安は全部

こいつと一緒に、僕がまとめて
食べてやるのにも
でもそんな事 結局何の意味も
なさないんだ
残ったのは柑橘系なんか本
当は苦手で
無理して咳込んで終わった、
僕と牛乳のコップだけ

僕は君を「ここではないどこか」
へは
連れていけない
けれど、君の飲み込まされて
いる現実の味は分かるんだ

分かるだけじゃだめかしんない
ね

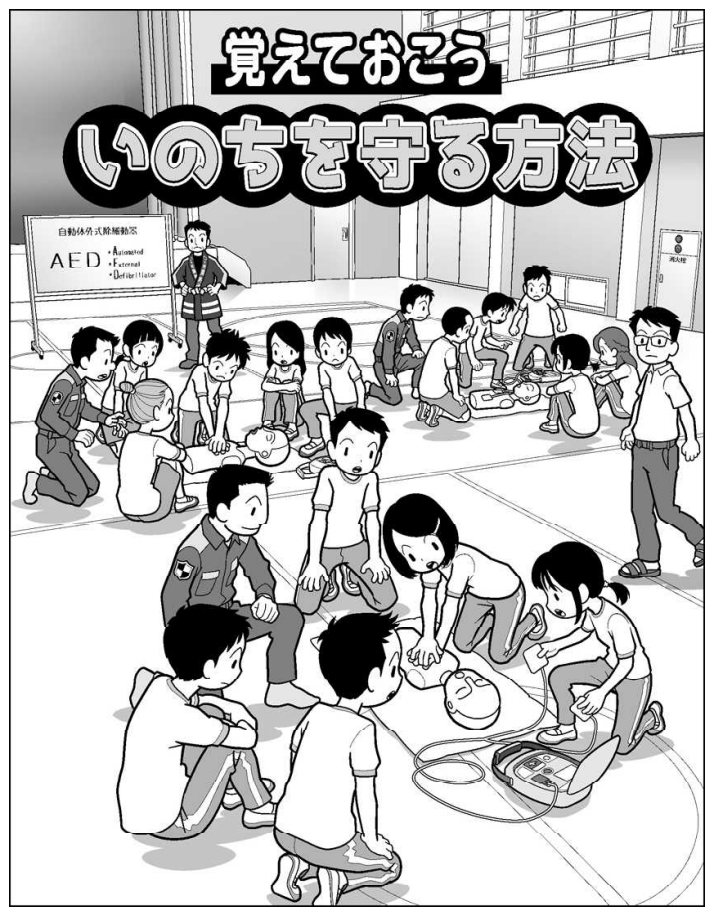
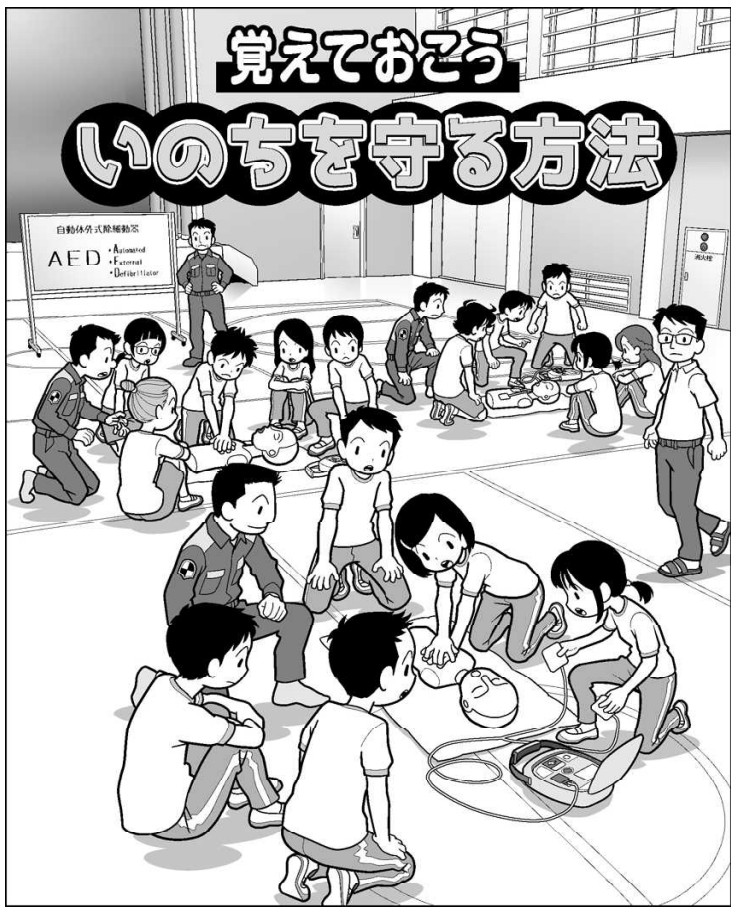
ただ君の涙を 恐くて痛くて
苦しい言葉を

ひとりごとにはさせないよ

繋がらなくていいから、隣
りにはいるよ
ずっとね



7つのまちがいをさがそう！！



奥に立っている消防署員の服/左奥のクルーの女子のメガネ/右奥のクルーの男子の髪型
/窓の格子/手前の消防署員の服のエプロン/手前のクルーの女子の髪型/先生の足

◇ 答 え ◇